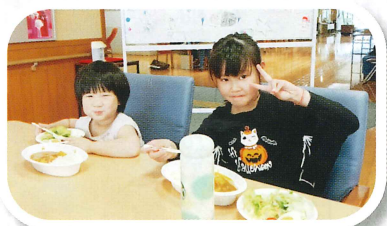


ボランティア センター だより



ちくぜん子ども食堂「ほっぺ」

5月10日(土)第1回子ども食堂が開催されました



いろんな思いからはじめるボランティア活動は
“笑顔”と“やさしさ”がいっぱい♪

★募集のお知らせ★

子ども食堂では、食材〈お米、カレールー(甘口)、野菜、未開封の調味料(マヨネーズ・しょうゆなど)〉や消耗品〈紙コップ、使い捨て紙皿、割り箸、スプーンなど〉を募集しています。

子どもたちをまんやかに 地域で活動する団体紹介

新たに立ち上がり、センター登録した団体です。会の紹介、活動のきっかけ、これからの取り組みなどのエピソードを伺いました。

だいちの会

代表 水島 康生さん

副代表 山脇 美奈さん
メンバー5人

私たちは、育ちを支え合う家族の会（不登校、不登校ぎみのお子さんをもつ親の会）です。お子さんのこと、ご自身のことなど、学校や友だちにも話にくい胸の内を当事者同士の温かい雰囲気を出しあっています。

月に一度コスモスプラザにて保護者の方が「ほっと」一息つける場所を目指しています。お子さんも一緒にどうぞ。途中出入りも自由です。お子さんのことを悩んでいる方、ぜひ一度足を運んでください。今後の日程や会の様子などは、インスタグラムやフェイスブックをご覧ください。



Q. 活動のきっかけを教えてください。
A. わが子の不登校に悩んでいた時、同じ経験をされた方に気持ちを聴いてもらい心が軽くなり、救われました。学校を楽しめない、学校に行きたくないというお子さんがいるご家族は、一人で抱えこんだり孤立したりしがちです。そんな親子を支えたい、当事者同士の横の繋がりをつくりたいという想いで会を立ち上げました。

Q. これからの活動の思いを教えてください。
A. 親の会に加え、不登校についての学習会や、親子の「こうだったらいいな」を集めて、ゆっくり過ごせる居場所づくりも行っていきたい。参加者の心が少しでも軽くなり、家族の笑顔が増えるように活動します。「お父さん、お母さんの笑顔が子どもたちの笑顔につながる」まずは、大人が安心でき、元気になれる場所でありたいです。



ちくぜん子ども食堂「ほっぺ」

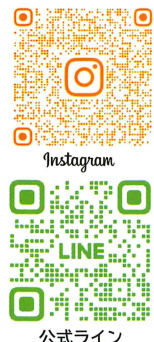
代表 栗原 保子さん

副代表 金崎 季実子さん
メンバー18人

食を通じて筑前町に住んでいる子どもたちの「居場所づくり」を目的に、地域の農業の方々や企業の応援・支援を受け、今年四月に立ち上げたばかりの子ども食堂です。現在は、コスモスプラザにて月一回（長期休みは毎週）の開催を目指しています。「ほっぺ」という名前のように、子どもや関わる大人が笑顔で、心が温かくなるような食堂（居場所）になればという思いで、メンバーと話し合い一歩ずつ進めています。

Q. 活動のきっかけを教えてください。
A. 子どもの居場所として「子ども食堂を立ち上げたい」と模索している中、同じ思いを抱く多方面で活躍する仲間に出会うことができました。みんなで力を合わせつながら「ちくぜん子ども食堂「ほっぺ」」を立ち上げることができました。

Q. これからの活動の思いを教えてください。
A. 食に豊かな町として、自然豊かな風土で採れるおいしい食事の提供と、生き生きとした未来づくりのサポートとして笑顔あふれる居場所を作っていきたいです。活動を続けていくために、多くの方のみなさんの理解と協力をお願いしたいです。



ボランティア活動のはじめの一步を学ぶための講座

「ボランティア入門&体験講座」

興味や関心があり、はじめるきっかけとして、ボランティアの心構えや地域の活動を紹介した後、実際に活動を選び体験できる講座です。

日程 7月11日(金)19:00~20:30

場所 コスモスプラザ福祉館 会議室7 定員 15人

小・中学生の福祉教育(体験)を応援するための
サポーター養成講座

「福祉教育サポーター養成講座」

小・中学生向けに行う福祉教育(体験活動)のサポートとして関わるサポーターを養成します。福祉教育で大切な思いや、町内での取り組みを学びます。受講後は、小・中学校での福祉体験と一緒に活動します。

日程 8月21日(木)10:00~11:30

場所 コスモスプラザ福祉館 会議室7 定員 15人

子育て世代を対象に地域と「つながる」を
“楽しむ”・“体験する” ワークショップ

「家族 de 作る・つながる」
工作ワークショップ」

地域とつながる第一歩としてワークショップを家族で楽しみましょう!

日程 9月6日(土)10:00~12:00

場所 コスモスプラザ生涯学習館2階 会議室1.2.3

定員 10組 材料代 500円

講師 秋酔工作教室 もりかつひろ先生

内容 紙ねんどで好きなものを作ってみよう♪

★5歳から1人で作れます



New

犬や猫が安心して暮らせる町を目指して
「できること」を学ぶ講座

「動物福祉ボランティア講座Part1」

犬・猫たちが幸せに暮らせるために必要なことやボランティア活動を学びましょう。

日程 8月24日(日)10:00~12:00

場所 コスモスプラザ生涯学習館2階
会議室1.2.3

定員 20人

講師 福岡県動物愛護推進員 松崎 博美さん

内容 ①犬・猫の幸せな暮らしを考えよう♪
②動物福祉ボランティアとは?

★「動物福祉ボランティア講座 Part2 野良猫問題を考えよう!」を10月上旬に行います。詳しくは、次号(9月発行)のセンターだよりでお知らせします。



★講座の対象者★

町内在住・勤務および町内での活動をする人です。

★お申込み★

電話(0946-42-4555)

メール、QRコードからお願いします。

(chiiki@chikuzen-shakyo.or.jp)

身近に起きる災害への備えと災害ボランティアの役割や心構えを知る・学ぶ講座

「災害ボランティア講座~災害のことを知る、考える、そして“人”とつながろう~」

防災への意識向上に向けて私たちが「できる」身近な取り組みを知ることや、災害ボランティア活動の役割や心構えを学び、もしもの備えと「つながり」を作りましょう。

日程 9月27日(土)10:00~12:00

場所 コスモスプラザ生涯学習館2階 会議室1.2.3

定員 30人

講師 一般社団法人 Camp



筑前町ボランティア部(=ボラ部)メンバー募集のお知らせ

センターは、「できる人が できるときに できることを」を合言葉にボランティア活動を進めています。令和6年度からスタートした「筑前町ボランティア部」はイベントや祭り等のボランティア活動、さまざまな講座で多くの人と出会い、交流し学ぶことができました。

ボランティア活動に興味・関心がある人は、仲間と一緒にボラ部でいろいろな活動をしてみませんか。

対象者 町内小学5年生～中学生 **活動内容** ①定例活動 ②ボランティア活動(依頼があるイベント・行事手伝いなど)

定員 30人

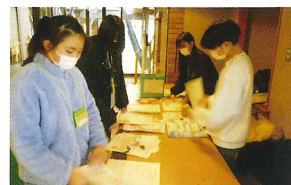
活動場所 コスモスプラザ他・町内

申込み方法 社協窓口・メール・QRコード

申込み期間 令和7年6月2日(月)～令和7年6月30日(月)まで



↑申込QRコード



ボラ部活動リポート

ふくおか“きずな”フェスティバル

令和7年2月16日(日)に福岡県社会福祉協議会主催のきずなフェスティバル分科会でボラ部メンバー7人が登壇しました。

これまでの活動やボラ部に入部して感じたこと、学んだことを伝えました。



第5回定例活動(修了式)

令和6年度最後の活動では、思い出に残ったボランティア活動やこれからやってみたい活動などをみんなで共有し合いました。

「多くの世代の人と関われた」、「楽しく活動できた」やこれまでの活動をお互いに振り返りました。最後にレクリエーションをして楽しい時間と交流を深めました。



ボランティア依頼及び活動分野

活動分野	件数
障がい分野	20件
高齢分野	5件
子ども分野	27件
地域活動分野	29件
合計	81件

ボランティア登録数

団体	登録数
22団体	(261人)
個人ボランティア	33人
事前登録災害ボランティア	24人

センター開設から10年が経過し、新たな活動の広がりや幅広い年代のボランティアの活躍がありました。小・中学生を対象にした「筑前町ボランティア部」を立ち上げ、多くの学びやボランティア活動ができました。その他に、子育て世代を対象とした家族向けの担い手講座を実施し、幅広い世代に対してボランティア活動への理解と推進をしていく中で、新たなボランティア団体が立ち上がりました。

令和6年度センターの活動報告

お詫びと訂正 社協だより第87号(5月発行)の記事に誤りがありましたので、訂正します。

訂正箇所 表紙 (誤) どんぶり学童 (正) どんぶり楽堂

みなさまにご迷惑をおかけしましたこととお詫びします。

筑前町ボランティアセンター

〒838-0215

福岡県朝倉郡筑前町篠隈373

コスモスプラザ福祉館(筑前町社会福祉協議会内)

TEL:0946-42-4555

FAX:0946-42-5941

ホームページアドレス <https://chikuzen-shakyo.or.jp>

メールアドレス chiiki@chikuzen-shakyo.or.jp

発行編集/社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

